

ワンポイント英会話【第2回】：海外の報道記事で見る海上自衛隊

2術校外語課程の授業では、教科書に加えビデオ、時事問題の報道記事など様々な教材が用いられています。今年10月に行われた海上自衛隊観艦式にはオーストラリア、シンガポール及び米国海軍の艦艇が参加し、国際色のあるイベントになりましたが、このうちオーストラリア海軍のホームページに掲載された記事を要約・抜粋して紹介します。

10月15日付 オーストラリア海軍ニュース・リリース（外語教官室仮訳）

見出し：“**Sydney shines in Fleet Review**”（「豪フリゲート艦シドニー、観艦式で輝く」）
With Mt. Fuji providing a distant backdrop, submarines performed surfacing manoeuvres, destroyers conducted tactical manoeuvring and patrol boats demonstrated high speed navigation displays. ...

遠方の富士山を背景に、潜水艦が浮上運動、護衛艦が戦術運動、また哨戒艇（ミサイル艇）が高速で展示航行を披露した。（注：Manoeuvres—ここでは英国式の綴りで、米国式の綴りは maneuver。主に艦艇や航空機の運動の意味である。この他の用法としては、diplomatic maneuvers「外交上の駆け引き」などがある）

Throughout our visit, their planning had been meticulous and their hospitality fantastic.

今回の我々の訪問の際、海自側の受け入れの段取りは緻密で、歓待ぶりもすばらしかった。（注：meticulous は「緻密な」の意味で、几帳面（な人）の場合にも a meticulous person などの表現を用いることができる。）

It was the 60th Anniversary of the JMSDF and the first time international ships have sailed, rather than remaining at anchor.

今年は海上自衛隊創設60周年記念であり、さらに外国艦艇が式典で航行するのも今回が初めてであった。（注：外国の観艦式は、投錨・停泊中の艦艇を観閲する機会が多いため、特筆に値するものであったと思われる）

Sydney's participation highlighted the strong defence relationship between the two countries, which is based on shared values, strategic interests and our alliance with the US.

「シドニー」の観艦式への参加は、日豪の強い防衛関係を強調するものであり、この関係は両国の共通の価値観、戦略上の国益、米国との同盟関係によって支えられている。

出典：www.navy.gov.au

この記事からは、観艦式が海上自衛隊の艦艇や装備の展示・公開だけではなく、各国との親善・信頼醸成に役立っていることを読み取ることができます。外国海軍ホームページでは、今回のようにわが国に対する認識の高さ、敬意を感じられる記述も見られるので、ぜひ一度アクセスすることをお勧めします。